

令和 2 年ホヤ類調査結果速報 No. 5

令和 2 年 11 月 25 日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>】

11 月 17 日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数はホタテガイ 1 枚あたり 9.7 個体で過去最少レベルでした（図 1、表 1、図 3 上）。
- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着重量はホタテガイ 1 枚あたり 23.8g で過去最小でした（表 1、図 3 下）。11 月に前月より付着重量が減少するのは、現在の調査体制が確立した 2010 年以降初めてです。
- 過去に 11 月の付着個体が 10 個体を下回ったのは 2011 年のみです。この年は、出荷時期（12 月～4 月）の付着物除去連と未除去連のホタテガイの成長差が小さかった年です。
- 本調査結果の付着量であれば、ホタテガイへの影響は小さいと考えられますが、局所的に付着量が多い場合も想定されるため、付着量が多い施設が残っている場合は、付着物除去などの対応を行ってください。

図 1 耳吊ホタテガイ（左）とヨーロッパザラボヤ（右） 令和 2 年 11 月 17 日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和 2 年度ザラボヤ被害防止ネットワーク構築委託事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

[調査月日：11月17日、調査場所：八雲沖 水深約30m、上中下層 各5枚]

ホタテガイを上層、中層、下層ごとに5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を採取しました(図1)。ヨーロッパザラボヤの平均個体数はホタテガイ1枚あたり9.7個体、平均サイズは26.0mmです(図2、表1)。前回の調査(10日16日実施、31.9個体、21.2mm)と比較して個体数は大きく減少し、平均サイズは大きくなっています(図2、図3上)。ただし、過去5ヶ年の同時期の平均サイズは33.0mmのため、平年よりも小型と言えます。付着重量は23.8gと先月(37.1g)から減少しました(表1、図3下)。11月に付着重量が減少するのは現在の調査体制が確立された2010年以降初めてです。付着個体数は2011年(9.7個体/枚)と並び過去最少であることに加え、サイズも例年よりも小型であることから、付着重量は過去最小の数値でした。

表1 付着生物調査結果(八雲地区：令和2年11月17日)

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	104.1g	122.8g	42.3g	89.8g
ヨーロッパザラボヤ	24.2g	37.3g	9.8g	23.8g
その他	79.9g	85.5g	32.5g	66.0g
ヨーロッパザラボヤ個体数	7.8個体	13.4個体	7.8個体	9.7個体
令和元年11月(R1.11.11)の個体数	45.8個体	37.0個体	33.2個体	38.7個体
平成30年11月(H30.11.24)の個体数	8.2個体	24.6個体	27.2個体	20.0個体
平成29年11月(H29.11.17)の個体数	8.6個体	49.8個体	47.4個体	35.3個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成(八雲地区：令和2年6月～11月)

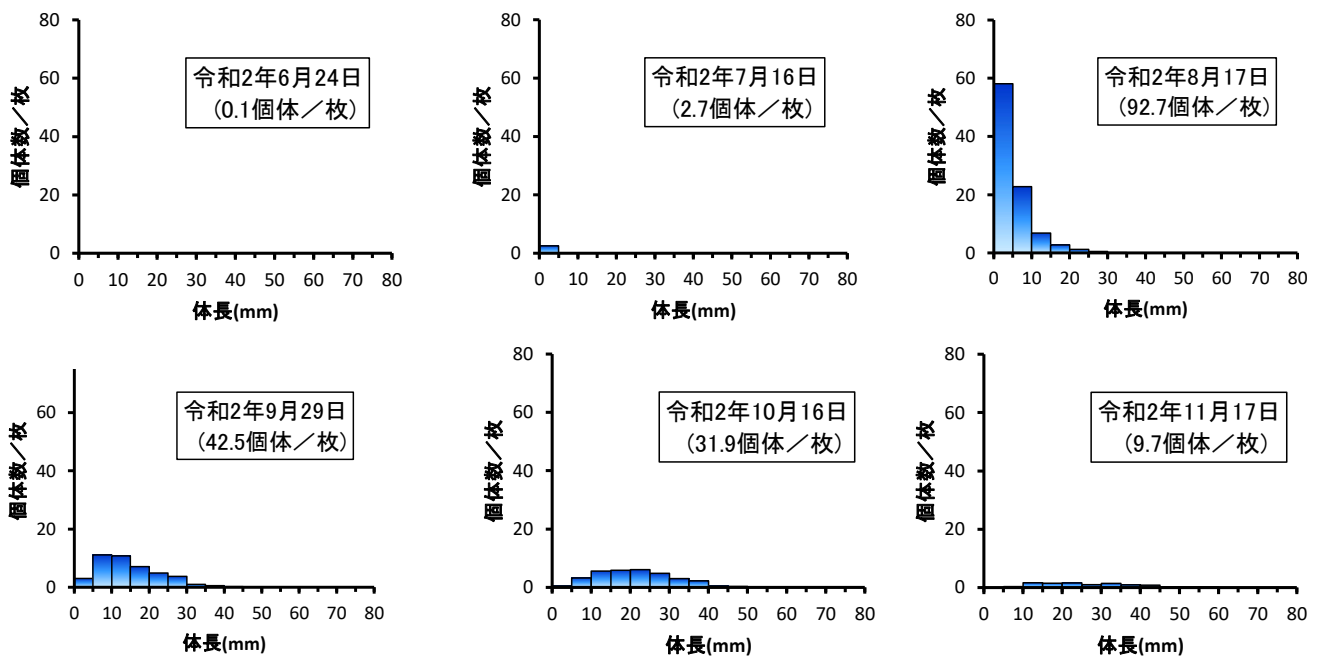
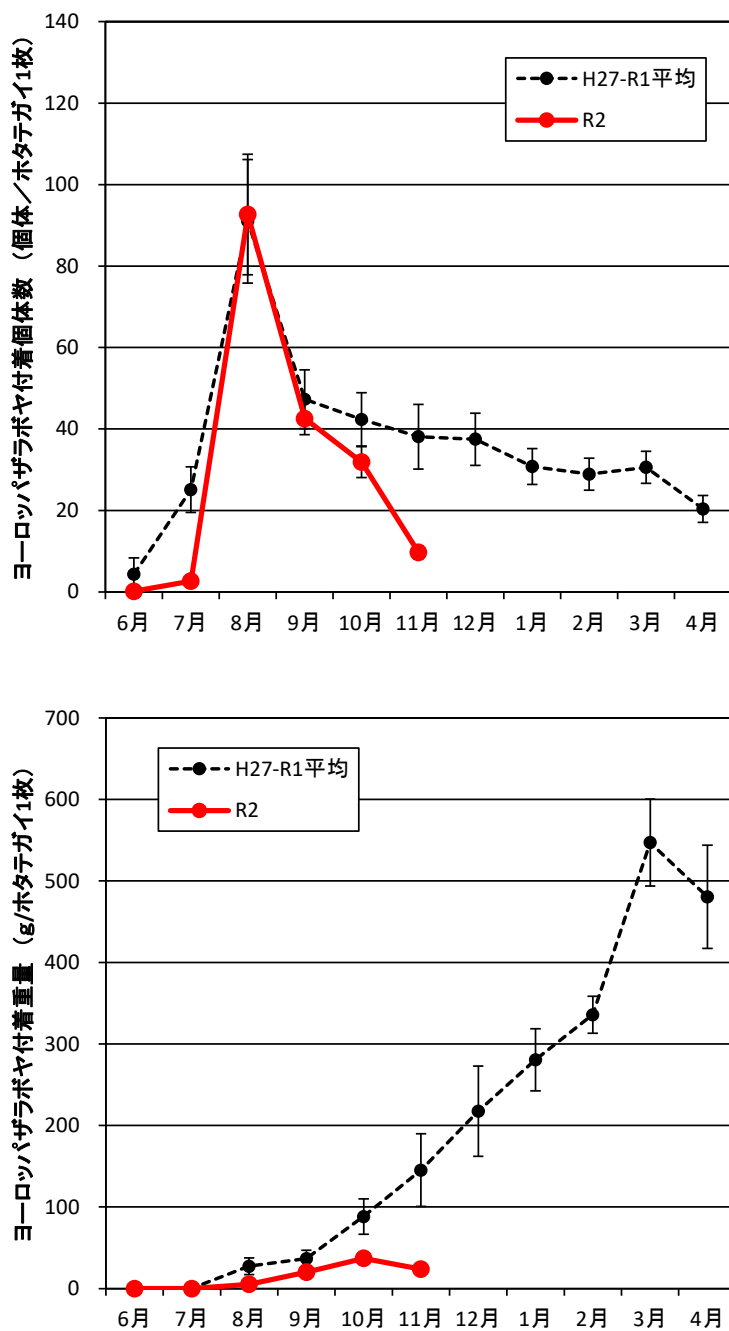


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）



上図：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

下図：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去5ヶ年（H26～30年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着は7～8月が中心となっています。付着重量は10月以降に急激に増加します。今年は11月に個体数が大きく減少し、付着重量が前月よりも減少した点で、非常に特異的な年だと考えられます。